

# 令和6年9月4日 庁議議事要旨

	庁議開催日	令和6年9月4日
	開催時間	午前8時30分～午前10時
	参加者	区長、副区長、教育長、各部長、児童相談所長、江戸川保健所長、区議会事務局長、他参与
報告 ①	報告タイトル	第37回 江戸川区民世論調査 結果概要
	所管部署	SDGs推進部
	報告内容	4月17日～5月8日の22日間、満18歳以上の区民4,000人を対象に区民世論調査を実施した。有効回答数は1,667件・41.7%（前年度比2%減）であった。主な結果として、「永住意向」は前年に続き80%以上と高い数値を維持している。「地震への備え」に関する設問の中で「近所の消火器がある場所を知っている」については、半数以上が「いいえ」と答えており、今後も周知に努める必要がある。また、「区政への要望」の設問では、「水害対策」と「震災対策」が1位・2位であり過去5年間変化はないが、今回は「熟年者施策」が5位に上がった。
報告 ②	報告タイトル	江戸川区職員名刺の作成方針と共通仕様
	所管部署	SDGs推進部、総務部
	報告内容	区職員名刺の作成について、これまでは原則私費対応としていたが、作成に係る台紙及びプリンタ消耗品の経費負担を認めることとした。それに伴い、共通仕様を定め、区のブランドイメージの向上を図る。共通仕様としては、名刺の左側1/3をアレンジスペースとし、キャラクターや写真、二次元コードなど各所管で定める共通デザインを掲載することができる。名刺の右側2/3は全庁共通でフォントなどを統一し、氏名等を記載する。
報告 ③	報告タイトル	令和6年度 区管理職による住民税の臨戸徴収
	所管部署	総務部
	報告内容	新たに管理職となった課長級職員による住民税の臨戸徴収を、10月20日に実施する。住民税滞納者に対し、納付相談、納付約束、徴収、文書催告等を行っていく。
報告 ④	報告タイトル	江戸川区防災アプリの機能拡張
	所管部署	危機管理部
	報告内容	令和4年4月15日から配信している「江戸川区防災アプリ」の機能拡張を実施する。拡張内容は、①「Uni-Voice」機能の追加（ハザードマップの読み上げ、緊急情報の表示・読み上げ・最寄りの避難所の表示・読み上げ、GPS機能での音による誘導）／②緊急時の防災行政無線放送の再生音声を多言語（英語・中国語（繁体・簡体）・韓国語）に対応／③防災マップに防災施設を追加（防災行政無線、防災井戸、かまどベンチ、マンホールトイレ）、である。アプリのアップデートは10月1日を予定している。なお、9月30日以前にアプリをダウンロードされた方は、アップデートが必要となる。今後は、区ホームページや広報えどがわ、防災アプリで周知していく。
報告 ⑤	報告タイトル	令和6年度 夏休み期間中の区内状況
	所管部署	都市開発部、環境部、文化共育部
	報告内容	今年度の夏休み期間中における区内施設の利用状況について、各部より報告があった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>葛西臨海公園の来園者数は約54万人で、コロナ禍前の令和元年度を上回る110.9%の来園者数であった。</li> <li>環七シャトルバス利用者数は、令和元年度には及ばないが9割程度まで回復してきた。</li> <li>区立公園等についても徐々に回復が見られるが、猛暑の影響でバーベキュー場3ヶ所では、減少傾向であった。</li> <li>文化施設において魔法の文学館の利用者は、夏休みのため子どもの割合が通常時と比べ8%増加し、全利用者の41%であった。</li> </ul>

# 令和6年9月4日 庁議議事要旨

	庁議開催日	令和6年9月4日
報告 ⑥	報告タイトル	第2回 再生可能エネルギー電力導入に向けたリバースオークションの実施説明会
	所管部署	環境部
	報告内容	9月12日、区施設の電力契約担当者を対象に「第2回 再生可能エネルギー電力導入に向けたリバースオークションの実施説明会」を開催する。説明会では、再入札可能な競り下げ式オークションにより最も安く提供できる小売電気事業者を選定し、第6次環境行動計画の達成（CO2排出量50%超削減、60%以上の再エネ電力導入）に向け、高圧契約以上の全施設の参加へのお願いを実施する。昨年度実施された第1回の実績は、区施設80施設において実施され、CO2排出量7,982 t、電気料金76,824千円が削減される見込みである。
報告 ⑦	報告タイトル	中小企業の脱炭素経営モデル事業
	所管部署	環境部
	報告内容	区内事業者7社を対象として、中小企業の脱炭素経営モデル事業を実施する。「カーボンマイナス推進に関する連携協定」の締結団体と連携し、区内事業者のCO2排出量削減に関する取組みをモデル事業として支援・区ホームページで削減効果を発信することで、区内事業者の取組意欲を促し、脱炭素化を加速させることが目的である。区は、光熱費等の実績提供を受けて、現在のCO2排出量を把握し、各事業者に応じた削減計画の策定等の伴走支援を行う。事業者は削減計画を活用し、国・都・区の補助金および区のおっせん融資による設備更新等を実践することが可能である。事業費は、5,488,005円を予定している。
報告 ⑧	報告タイトル	江戸川区の自殺の現状と取り組み
	所管部署	健康部
	報告内容	区内の自殺者数は、令和5年は増加に転じたが、過去最多となった平成23年と比較すると約3割減少した。自殺の原因・動機においては、健康問題が約半数を占め一番多かった。令和5年の区の自殺死亡率は、国や都と同程度であり、前年と比べると19歳以下・20歳代・30歳代の若年層と60歳代・70歳代の高齢層が増加した。区職員一人ひとりが自分事として自殺への対策や支援に取り組みめるよう、ゲートキーパー養成講座等を実施していく。また、自殺予防週間（毎年9月10日～16日）には、「自殺防止！えどがわキャンペーン」として、パネル展示やリーフレット配布、総合相談会などを予定している。
イ ベ ン ト ①	報告タイトル	令和6年度 水道サポーター交流会の実施
	所管部署	危機管理部
	報告内容	10月26日、松島コミュニティ会館にて「令和6年度 水道サポーター交流会」を実施する。お客様と東京都水道局職員が直接対面する交流会を実施し、双方向のコミュニケーションにより具体的なご意見・ご要望をお聴きして、事業への活用を図ることが目的である。定員は20名程度を予定している。
イ ベ ン ト ②	報告タイトル	令和6年度「笑顔いっぱい長寿の集い」開催日程
	所管部署	福祉部
	報告内容	9月14日～16日の3日間、区内計35会場において、「笑顔いっぱい長寿の集い」が開催される。各会場では、演芸大会やリズム運動、作品展示など様々な催しが予定されている。